

先生各位

検査内容変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、下記検査項目の内容を変更させていただきますので、ご案内申し上げます。
今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

敬白

記

《変更日》 平成 16 年 3 月 22 日(月) 受付分より

《変更内容》

総合検査案内	検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.60	0882	クラミジアトラコマチス抗原	容器形状	容器形状が変更になります 別途案内をご参照ください	
	0890	男子初尿中 クラミジアトラコマチス抗原	報告形態	(+) (±) ()	(+) ()

その他の検査内容に変更はありません。

報告形態(±)の解釈につきましては、本検査において(+)とも(-)とも判定できない領域であり、感度及び特異性がより優れた核酸増幅同定検査(PCR法)による確認が望まれます。

《変更理由》

現行試薬である「クラミジアザイム(アボットジャパン)」の製造中止により、感度・特異性におきまして現行試薬と同等以上である「イデアPCEクラミジア(協和メデックス)」へ変更させていただきます。

なお、現在クラミジアトラコマチス抗原検査におきましては、診療報酬点数が異なる核酸増幅同定検査(PCR法)[280点]、核酸同定精密検査(液層ハイブリダイゼーション法)[260点]、抗原精密検査(EIA法)[210点]の3種類がございます。このうち感度・特異性については、核酸増幅同定検査(PCR法)が最も優れており、核酸増幅同定検査での検出が望まれます。

《現行試薬との比較》

		新規試薬		
		+	±	-
現行試薬	+	30	1	3
	-	6	0	13

判定一致率：90.3% (尿検体による比較)

《PCR法との比較》

		新規試薬		
		+	±	-
PCR法	+	36	1	16
	-	0	0	50

判定一致率：84.5% (尿検体による比較)